

○事業所名	放課後等デイサービス コンパス		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 8日		～ 令和 7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 5日		～ 令和 7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様の自律・自立を目指して、「ひとりだち訓練」という個別支援の取り組みを毎月全利用者様に実施しており、日常生活に必要な多様な経験を積み重ねていただく機会となっております。 長期休暇には、外出行事を中心に取り組んでおり、公共のマナーや社会性を身に付ける機会となっております。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ひとりだち訓練」の内容は、調理(主菜、副菜、主食、菓子パン、和菓子、洋菓子等)を中心に、タイピング練習、Word・Excel操作、裁縫、介護技術(車いす等)、応急処置、救急法(緊急時対応、胸骨圧迫、AED等)、履歴書作成、木工、グルーガンDIY、葉書宛名書き等々、多彩な取り組みとなるように企画・運営しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様のご成長や発達段階に応じて、個別の支援方法を取り入れ、環境に配慮してアプローチ方法に変化を持たせることで、皆様が参加できるように取り組んでおります。又、個々の課題に応じて、道具や使い方を工夫することにより、利用者様が作業の自立を図り、成功体験を積んで自己肯定感に繋がることを目指しております。
2	<ul style="list-style-type: none"> プログラムについては、おやつ作りやスポーツ活動を中心に取り組んでおり、レクリエーションや遊びについても体や手先を使う活動を多く取り入れて、認知機能や、思考力・観察力・洞察力を活用した取り組みとなっております。又、利用者様の身の回りの自立を目指して、可能な限りご自身のことはご自身で取り組んでいたいただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> おやつ作り等は、1ヶ月に10回程度実施しており、年間100回の実施回数となっております。調理技術の基礎をおやつ作りで習得できるプログラム構成で、食材からおやつに仕上げる工程や材料を知ることも食育を兼ねています。スポーツ活動は、ボールスポーツ等の基本動作を習得し、体の使い方がスムーズになることを目指しています。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムへの参加は選択可能ですが、プログラムとは別の活動を希望する場合には、担当職員や他の利用者様にご自身の状況を説明して意思を伝えることを推奨し、適切なタイミングでのコミュニケーション(ソーシャルスキルトレーニング)の習得を図る機会となるように取り組んでおります。
3	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に応じて実施している利用者様の自立支援では、事業所への通所に関わる様々な取り組みを行っており、徒歩での自立通所練習の付き添いや、連絡手段の自立に向けて携帯電話や固定電話での連絡練習を実施しております。 成人期へ向けた社会資源の情報提供や事業所見学・体験・公共交通機関乗車体験を実施しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援においては、安全面に配慮し、学校や保護者様と十分な連携を取りながら実施しております。 将来的な就労を見据えて、様々な作業訓練や自立支援に取り組んでおります。 	<ul style="list-style-type: none"> 通所や公共交通機関の利用が自立に向かうことは、利用者様の日常生活において、活動領域の増大や、将来的な選択肢の増加に繋がると考えられるため、可能な限り早い段階からの自立支援の取り組みを目指しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 建物の正面階段の長さ等については、保護者様にご心配をおかけしております。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上、改修や手すりの設置等は困難であり、ハード面での大きな改善は、難しい現状がございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 開設以来、現在の場所で事業運営を行っており、移転も難しく、現状では、利用者様の正面階段使用をできる限り控え、やむを得ず使用となる場合には、職員が下側で利用者様の安全確保を行うことを徹底しております。 建物内には、エレベーターや途中に踊り場のある階段が設置されているため、通常、それらを使用しております。
2	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のスペースについて、利用者様のご成長や活動内容に対して十分であるかと保護者様にご心配をおかけしております。 	<ul style="list-style-type: none"> 広さにおいて、国の基準を満たしておりますが、スペースは限られており、現在の場所からの移転も難しい現状がございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理においては、広すぎず狭すぎずという現状のスペースで、見えない範囲が無いことが、利用者様全体の状況把握と事故防止に繋がっていると感じております。 利用者様の状況やご成長に応じたプログラム内容、空間と時間の使い方、レイアウトや遊具を工夫することにより、安全にお過ごしいただけるように努めてまいります。
3	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の事業所が1事業所のみとなっていることから、定員が限られており、現在、ご利用希望者の方々には、ご利用可能となるまで長い期間お待ちいただくことになり、ご不便をおかけしております。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様のご利用期間が、数年単位であるため、ご利用をお待ちいただく場合も期間が長くなる場合がございます。進学等による生活環境の変化のタイミングで空きが発生することもございますが、予測ができないため、新規のご利用希望者の方々のタイミングが合わずに、ご不便をおかけすることになっております。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規のご利用希望者の方々の状況により、急いで利用できる事業所をお探しの場合は、他事業所の情報提供を行っております。 定期利用の空きが発生するまでの期間に、スポット利用のご希望があれば、スポットで空きが発生した時に、随時ご利用いただいております。